コイズミ学習椅子保証書

品番	（座面下の白いラベルで品番をご確認ください）
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　—
お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご容赦ください。

KOIZUMI

保存用

SNF-TI-322

取扱説明書（保証書付き）

ベストフィットチェア

●CDY-001LP　●CDY-005GR
●CDY-002LB　●CDY-006PB
●CDY-003VP　●CDY-007NB
●CDY-004PR

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

この取扱説明書のマークについて

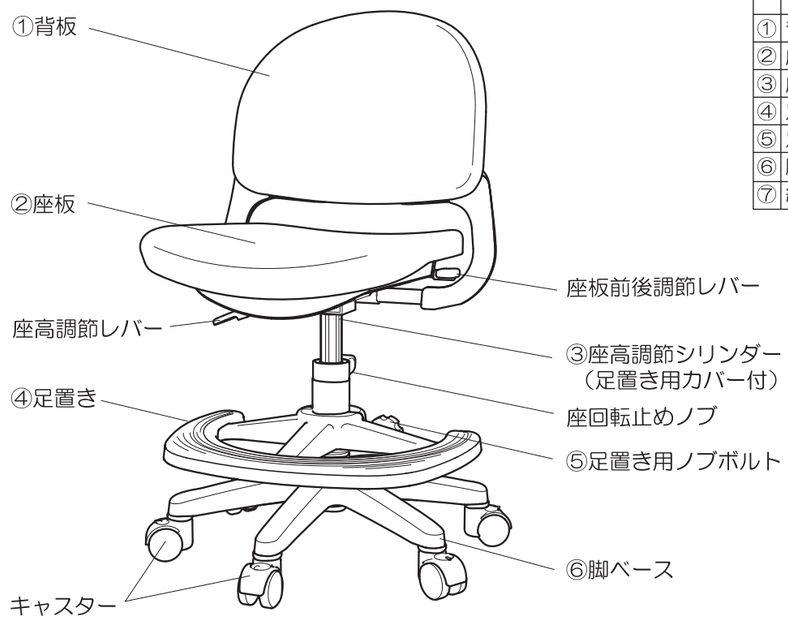
警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
注意　説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。

このマークのついている説明文は必ず守ってください。

このマークのついている説明文は特に注意してください。

警告
●座高調節シリンダーは、高圧ガスが封入されていますので、絶対に分解や注油をしないでください。ガスが吹き出してケガをする原因になります。
●座高調節シリンダーを絶対に火気の中へ入れないでください。破裂によりケガをする原因になります。

各部の名称



《構成部品》

	部　品　名	数量
①	背板	1
②	座板	1
③	座高調節シリンダー	1
④	足置き	1
⑤	足置き用ノブボルト	1
⑥	脚ベース	1
⑦	組立てボルト	4

イラストは実際の商品と多少異なる場合があります。

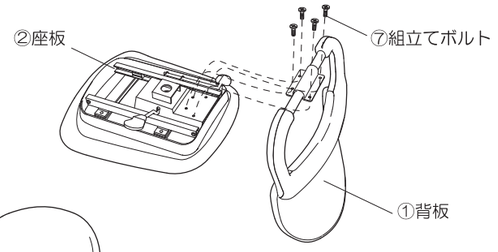
組立方法

⚠ 説明書の記載に従って組立てを行ってください。誤った方法で組み立てると破損やケガの原因になります。

1.背板と座板の組立

背板①と座板②を組立てボルト⑦4本でしっかりと固定してください。

⃠ 組立てボルトは回らなくなるまでしっかり固定してください。
➡背板がはずれて、けが、破損の原因になります。

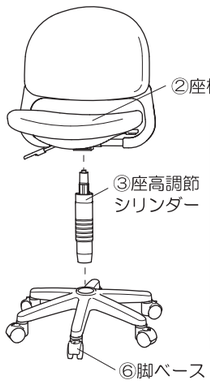


2.座板と座高調節シリンダー、脚ベースの組立

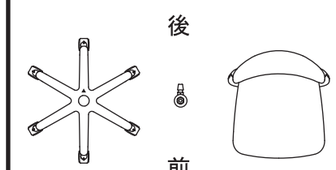
脚ベース⑥の上から座高調節シリンダー③を差し込んでください。
※この時、脚ベースの方向指示シールと座高調節シリンダーの座回転止めノブの方向を合わせてください。
座高調節シリンダー③の上から１で組み立てた座板を差し込んでください。
※この時脚ベースの方向指示シールと座板の向きを合わせてください。

⃠ 座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、 脚、シリンダー及び、座をしっかり固定してください。
➡座板がはずれて、 けが、 破損の原因になります。

⃠ 座の上に立たないでください。
➡倒れて、けがをする原因になります。



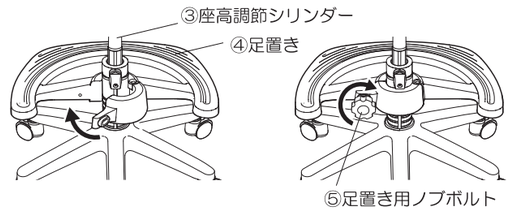
前後の向きに注意して組み立ててください。



3.足置きの取付け

座高調節シリンダー③のカバーのみぞに足置き④の内側の突起を合わせてはさみ込んでください。
その後、足置きのすきまが無くなるまで足置き用ノブボルト⑤をしっかりと締め付けてください。
※この時足置きの向きに注意して取り付けてください。
足置きは椅子に座った状態で膝が直角になるくらいの位置に取り付けてください。

⃠ 足置きの上に立ち上がったり、飛び乗ったりしないでください。
➡落下、転倒し、ケガをする原因になります。

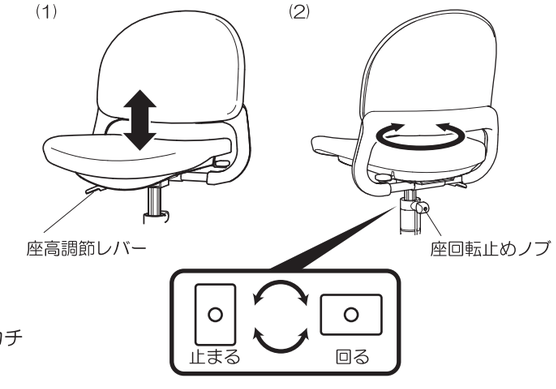


使用方法

《座板の高さ調整・回転止めのしかた》

(1) 座ったまま座高調節レバーを持ち上げると座はさがり（※体重によってはこの限りではありません）、腰をうかせて座高調節レバーを持ち上げると座はあがります。適切な位置でレバーを離すと座板高が決まります。
(2) 座回転止めノブを縦向きにするとストッパーがかかります。カチッとはまる位置まで座板を回してください。

⃠ 座の上に立たないでください。
➡倒れてけがをする原因になります。



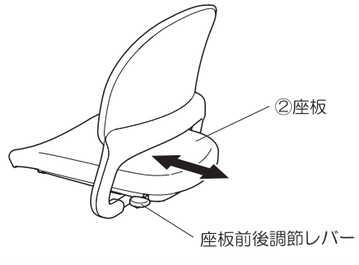
《座板の前後調整のしかた》

座板前後調節レバーを持ち上げた状態で座板を前後に動かし、カチッと止まる位置で固定してください。

《足置きの高さ調整・着脱のしかた》

組立て方法３と逆の手順で足置きを取り外してください。
高さ調整は座高調節シリンダーのカバーの溝の位置に合わせて足置きを取付け直してください。

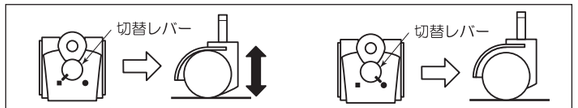
⃠ 足置き固定の際は必ず足置き用ノブボルトが回らなくなるまで強くしめ付けてください。
➡動いてけがをする原因になります。



使用方法

《ストッパー切替レバー付キャスターについて》

◎切替レバーを回し、レバー先を■側に合わせますと、キャスターが沈み込みますので、ストッパーが掛かるようになります。
◎同様に、レバー先を●側に合わせますと、キャスターが沈み込みませんので、ストッパーが掛かりません。
※お子様の体重が軽い時はストッパーがかからない場合があります。



(注) お子様が床に足が届かない間は、ストッパーが掛かる状態でのご使用をおすすめします。その際、安全のため５個すべてをストッパーが掛かる状態にして、ご使用ください。

使用上のご注意

■家具の置き方

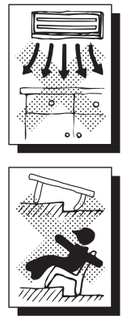
⚠ 注　意

●家具の上にものを置くと、落ちてけがをすることがあるので、置き方にご注意ください。

●高温・多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害することがあります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10㎝位が望ましい）、部屋の換気をしてください。

●直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当らないようにしてください。家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

●家具は水平を保つように置いてください。ガタツキのまま使っていると、家具の強度が落ちる等、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。



■ご使用にあたって

⚠ 警　告

●足置きの内側に足を入れたり、足置きの上に立ったりしないでください。
➡安定をくずし、倒れて、けがをする原因になります。

●可動部のすきまに指や手を入れないでください。
➡ケガをする原因になります。

●前後方向逆向きに座ったり、肘掛や背もたれに座ったりしないでください。
➡安定をくずし、倒れて、けがをする原因になります。

●背板や背フレームにカバンやランドセルなどを掛けないでください。
➡安定をくずし、倒れて、けがをする原因になります。

●分解や改造をしないでください。
➡ 破損やケガの原因になります。

⚠ 注　意

●家具の上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしないでください。安定をくずし、倒れてけがをすることがあります。

●キャスター（移動用小車）付きの場合は、その上に立ったり、すわったまま激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりすることがあります。

●運搬や乗り物の用途に使用しないでください。転倒や破損原因になります。

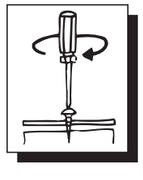
●家具を移動する時は、落したり倒したりして、ものをこわしたり、けがをすることがないように、手でしっかり持って運んでください。

●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かないでください。こげや変色の原因になることがあります。

■保守・点検

⚠ 注　意

●取付金物等の固定用ネジ類がゆるんでないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、けがをすることがあります。また、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら、しめ直してください。



●溶接箇所や接合部に異常を発見した時は、直ちに使用を中止し、販売店へご相談ください。

●虫害を発見した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

SA·FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805